

# 言葉に寄り添い、 国語を楽しむ児童の育成

～国語科として付けさせたい力を明確にした授業実践～



大野町立東小学校 杉山貴紀

## 主題設定の理由 <①今日的課題>

情緒力・論理的思考力・語彙力の育成



小学校では、「話す・聞く」に加えて「読む・書く」の「繰り返し練習」により、国語力の基礎となる知識を確実に身に付けさせることが重要である。特に、「読み」の学習を先行させることで、**言葉の知識（特に「語彙力」）を増やすことに重点を置くべきである。**（文部科学省HPより抜粋）

## 主題設定の理由

<②児童の実態>

- 全国学力・学習状況調査等の結果から
- ・全国や県の平均値と比べ、低い傾向が続いている。
  - ・無回答率の割合が高い。
    - 語彙力が不足しており、読解力、表現力が十分身に付いていない。
    - 学習意欲が向上していかない。

## 主題設定の理由

<②児童の実態>

国語の授業の内容はよくわかりますか。

当てはまる

35.0

どちらかといえば、当てはまる

45.0

意識と実態の乖離



平均正答率（国語）

本校

54

県

65

全国

67.2

## 主題設定の理由

### 国語の教科指導

言語活動を  
どのように  
仕組みば  
よいか  
分からない

自分に何が  
できるだろうか

何をどのように  
教えてよいか  
分からない

どうすれば魅力のある  
国語の授業ができ  
るか分からない

<③本校の研究>

## 研究仮説

国語の指導において、**ねらいや単位時間の役割を明確にした単元指導を構想**し、児童一人一人が話し合い活動に主体的に取り組むための**指導・援助の工夫**や、**言葉による見方・考え方を大切に**した**評価**を積み上げれば、文章の内容を正しく理解したり、自分の思いや考えを適切に表現したりする児童が育つであろう。

そして、**国語科以外で学習した力を発揮する場**を意図的に設定することで、国語科の学習に対する**目的意識**が生まれ、また、**学びを生かした実感**をすることで、「**もっと学びたい。使いたい**」と感じさせることができるだろう。

## 研究内容

- 1 言葉による見方・考え方、ねらい、単位時間の役割を明確にした単元指導計画
- 2 日常的に国語の力を高めたり発揮したりする場の設定

## 研究内容 1

**言葉による見方・考え方、ねらい、単位時間の役割を明確にした単元指導計画**

- (1) 必然性のある言語活動の設定
- (2) 児童の意識とねらいのつながりを明確にした単位時間の構想
- (3) 児童のやる気を引き出す評価

## 研究内容 1 (1)必然性のある言語活動の設定

によって支えられているかを、接続語や段落相互の関係に着目して理解している。【(2)ア】

事例との関係を明確にして、例示の順序を工夫して書くことができる。【B(1)ウ】

動に取り組み、自分の考えを分かりやすく相手に伝えるために、理由や事例の書き表し方を工夫している。

単元をつらぬく課題： れいの書かれ方に気をつけて読み、それをいかして食べ物のみみつを書こう。

<第13時>互いに文章を読み合い、自分や仲間の説明の仕方のよいところを見つけている。【思・判・表B(1)オ】

<第11・12時>自分の考えと、それを支える事例の関係がはっきりするように、接続語を使ったり、図や写真を使ったりして書いている。【思・判・表B(1)ウ】

<第9・10時>意図を明確にして、調べた情報を順序立てて作文を構成している。【思・判・表B(1)イ】

「まず」「次に」など使って順番に説明す  
かりやすく伝えられ  
分かった。

はんぺんのように言  
で説明が難しいもの  
を使って書けた。

お寿司のように作り  
単なものから、はん  
うに作り方が難しい

## 研究内容 1 (1)必然性のある言語活動の設定

### 題材のねらいに即した言語活動

書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。(思・判・表B(1)イ)

目的を意識して、中心となる語や文を見つけることができる。(思・判・表C(1)ウ)

自分の言葉で捉え直す



段落同士のつながりが生まれるように、説明の順番に意図性をもたせて文章を構成する

## 研究内容 1 (1)必然性のある言語活動の設定

### 児童の学習意欲を高める単元の導入



牛乳



魚



大豆

難化  
(本文の構成  
と同様)

どうやって  
作るのだろう？

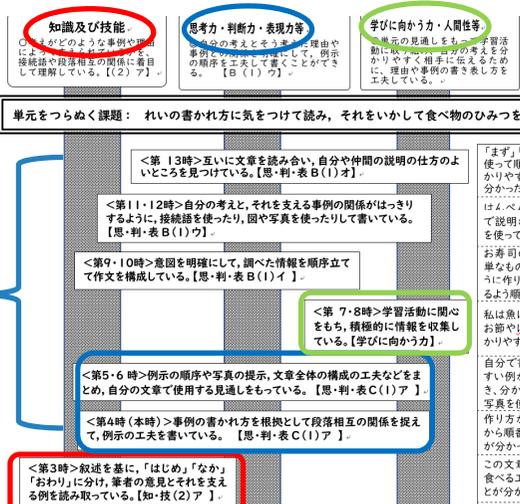
学習する  
必然性

## 研究内容 1 (1)必然性のある言語活動の設定

- 何のために本文を読むのかが明確
- 児童が、どんなことに着目して読み取りを行えばよいか分かる
- 出口の言語活動がスムーズに

## 研究内容 1

### (2) 児童の意識とねらいのつながりを明確にした単位時間の構想

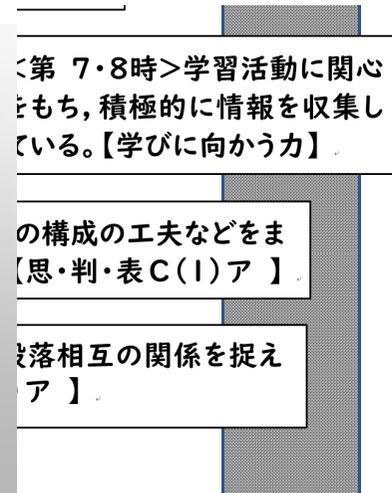


思・判・表の単位時間は、知・技の習得の上に位置付けているか

単位時間のねらいに偏りはなにか

## 研究内容 1

### (2) 児童の意識とねらいのつながりを明確にした単位時間の構想



この文章は、大豆をおいしく食べさせるための説明している。よう順番を考えた。私は魚について書こう。かつお節やはんぺんの説明を分かりやすくしたいな。自分で書く時には、分かりやすい例から順番に書いていき、分かりにくいものは絵や写真を使って説明したい。作り方が想像しやすいものから順番に説明していることが分かった。

単位時間を終えた児童の意識

活動と評価のつながり

## 研究内容 1

### (2) 児童の意識とねらいのつながりを明確にした単位時間の構想

「すがたをかえる大豆」「食べ物のみみつを教えます」。

#### 1. 単元構想図

【単元のねらい】  
考えとそれを支える事例との関係が明確になる書き表し方を理解し、学習した書き方の工夫を用いて食べ物について分かったことを書きまとめることができる。  
【本単元における言葉による見方・考え方を働かせた姿】  
分かりやすく説明するために、接続語を用いて事例が書かれた段落相互を順序立てて結び付けている。

#### 単元の評価規準

##### 知識及び技能

○考えがどのような事例や理由によって支えられているかを、接続語や段落相互の関係に着目して理解している。【(2)ア】

##### 思考力・判断力・表現力等

◎自分の考えとそう考えた理由や事例との関係を明確にして、例示の順序を工夫して書くことができる。【B(1)ウ】

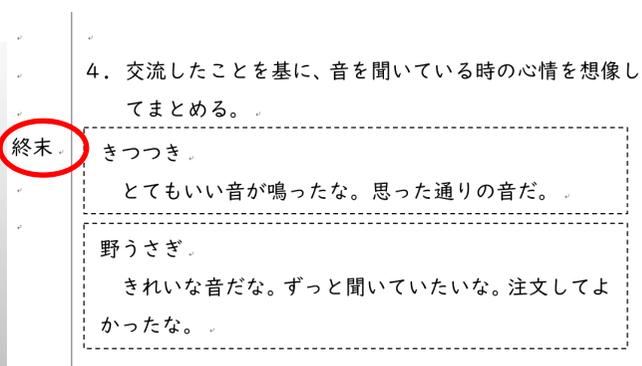
##### 学びに向かう力・人間性等

○単元の見通しをもって学習活動に取り組み、自分の考えを分かりやすく相手に伝えるために、理由や事例の書き表し方を工夫している。

単元をつらぬく課題： れいの書かれ方に気をつけて読み、それをいかして食べ物のみみつを書こう。

## 研究内容 1

### (3) 児童のやる気を引き出す評価



・まどめは、①きつつきの気持ち。②野うさぎのきもち。③使ってみよう言葉。の3つについて書く。③を書かせることで、本時の学びを確かめ、次時以降の学習意欲につながりをつなぐことをねらう。【研究3】

#### 評価規準

音や様子を表す言葉を本文から見つけ、読み取りを基に人物の心情を想像している。(ノート・まどめのプリント)

評価の方法や場面は適切か？

## 研究内容 1 (3) 児童のやる気を引き出す評価

本時のねらい

事例の書かれ方を根拠として段落相互の関係を捉えて、例示の工夫を書いている。

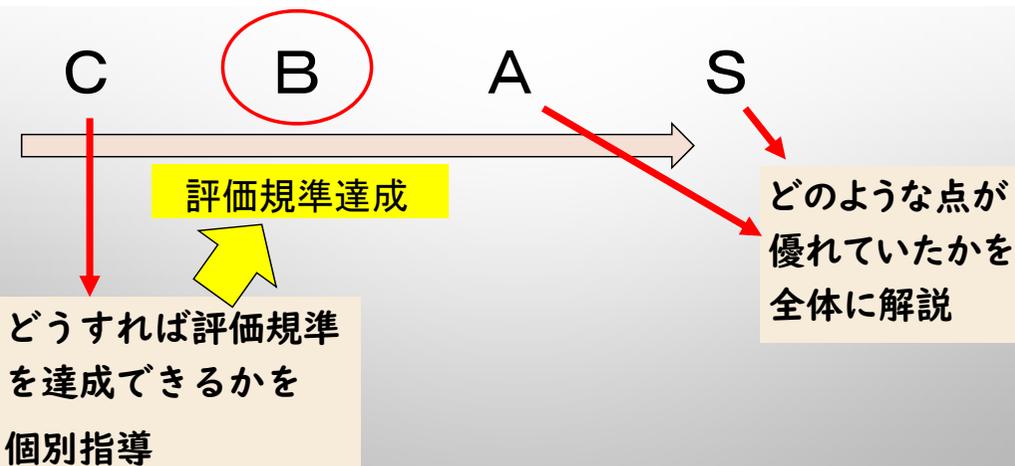
ねらいを児童の言葉で捉え直す



筆者は、読む人に分かりやすく説明するために、炒り豆から醤油というように、読む人にとって分かりやすいものから、分かりにくいもの順番で例を書いていることが分かった。

## 研究内容 1 (3) 児童のやる気を引き出す評価

評価基準を児童と共有する



## 研究内容 2

日常的に国語の力を高めたり発揮したりする場の設定

(1) 音読等の家庭学習の再考

(2) 掲示物の活用

## 研究内容 2 (1) 音読等の家庭学習の再考

学習状況に応じた読み方を選択

30	日						
れい	どきん						

※音読の他に、宿題(計算ドリルや漢字ドリルなど)の見届け(答え合わせ)もお願いします。音読に見届けのサインをしてください。

本年度も、しばらくは昨年度の音読カードの内容に取り組みます。  
お子さんの実態や音読する場所によって、方法を調節してください。

『山びこ読み』…お家の人の後に続いて、同じように読みます。  
★単元の初めや、音読の苦手なお子さんに効果的です。

『竹の子読み』…読みたい一文になったら「びよこん」と立って読みます。  
(それ以外の所は、お家の人に読んでもらいます)  
または、「 」の文と地の文とに分かれて読みます。  
★「音読、めんどくさい」という日には、この方法もありですね。

『キャッチボール読み』…一文ずつ、お家の人と交互に読みます。  
★2回目は逆になって読むと、全文読んだことになりませぬ。

『ホームラン読み』…全文を一人で読みます。間違えずに読み通せたら、大成功です。  
★集中して文字を目で追う力がつきます。  
国語の時間にも取り入れていきます。ぜひ、お家でも「楽しみながら身に付く音読」をご実践ください。

## 研究内容 2

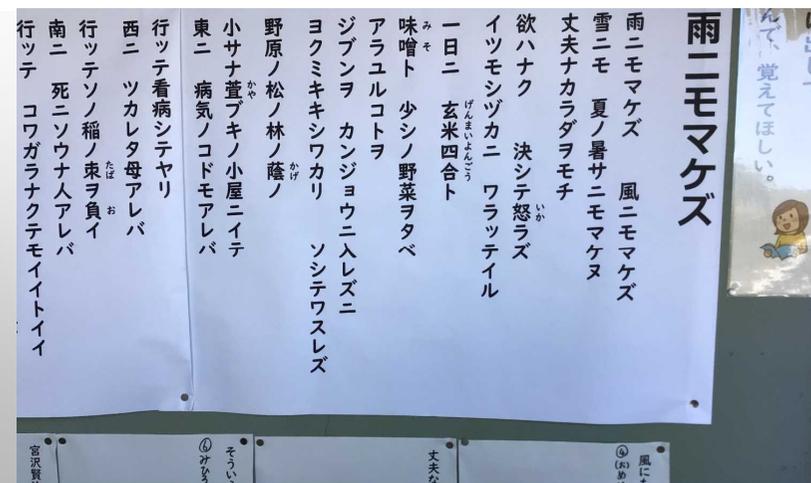
### (1) 音読等の家庭学習の再考

- 音読に取り組める児童が増えた。
- 「クイズ読み」をして、翌日には教師や別の児童に出題する児童も見られた。
- 一人読みの時間により多くの叙述に着目できる傾向が見られた。

## 研究内容 2

### (2) 掲示物の活用

言葉に慣れ親しむための暗唱活動



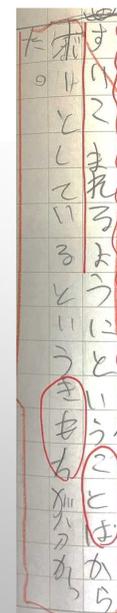
## 研究内容 2

### (2) 掲示物の活用

掲示物を活用した考えの形成



6月

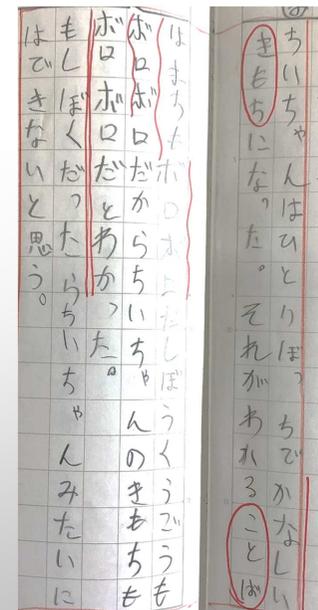


成果

9月



自分の考えを  
根拠となる叙述を  
用いてまとめられる  
ようになった



## 成果

国語の勉強は好きですか。

4月	9月
50	67

国語の勉強は大切だと思いますか。

4月	9月
94	100

国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに注目していますか。

4月	9月
72	85

**言葉に寄り添い国語を楽しむ児童が増えた**

## 課題

▲内容がよく分かるかについての変化がほとんどない

国語の授業の内容はよく分かりますか。

	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
4月	31	53	16	0
9月	30	52	18	0

**個別最適な学び→「国語が好き・分かる」**

ご清聴ありがとうございました。

